

■二輪車販売の実務と情報

ヤマハニュース 12

YAMAHA NEWS NO.114 '72 DEC.



ヤマハロータリーRZ201

特集 第19回 東京モーターショー

衝撃の新登場!!

12

月のスポーツレジャーハイライト

スケジュールは、天候その他の事由により変更されることがあります。事前に連絡先にお問合わせください。

日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		▶競技会	▶会場	▶主催	▶連絡先					
3	日	TCMS関西チャンピオン決定戦	トレールランド八日市	ヤマハ発動機大阪支店	(06)538-7331					
4	月	人権週間								
5	火									
6	水									
7	木	大雪								
8	金	針供養 おさめの業師								
9	土									
10	日	TCMS岐阜最終戦 第8回アマチュアライダーズトライアル 関東選手権第11戦谷田部モトクロス	トレールランド岐阜 横須賀 谷田部	ヤマハ発動機岐阜営業所 アマチュアスポーツライダーズ MFJ城北ブロック会	(0582)72-2110 (03)372-4153					
11	月									
12	火									
13	水									
14	木	泉岳寺義士祭								
15	金	最上稲荷火焚祭 年賀郵便受付								
16	土									
17	日	シリーズ8ナショナルチャンピオントライアル	神奈川県酒匂川	チームスコティッシュ	(0468)23-1023					
18	月	おさめの観音								
19	火									
20	水									
21	木	おさめの大師								
22	金	冬至・昼が一番短かい日								
23	土									
24	日									
25	月	クリスマス								
26	火									
27	水									
28	木	官公庁ご用納め								
29	金									
30	土									
31	日	年越・大はらい・除夜の鐘								

北の地方のお店では
オートバイにかわってスノーモビルの季節
ことは、何年かふりに雪の多い冬だとか
お客さまの冬のSLもより活発になること
でしょう。

お店の'72年はいかがでしたか。
'73年の飛躍をめざし、
最後のしめくりの一月、健康には十分
気をつけて
積極的なご商売をおつづけください。

いよいよ師走・十二月——
公私ともに一年間の締めくくりのとき
何かとせわしい年の瀬です。

1973年1月

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

カスガー! と一番人気の ヤマハ



モーターファンのみならず世間の大きな関心を呼んで、秋の恒例行事となつてゐる東京モーターショーが、ことしも東京・晴海の国際貿易センターで盛大に開催されました。

十月二十三日のチャリティショーから、十一月五日までの十四日間の会期に、じつに百二十万余の観客を動員。いまさらながらにモーターゼーションの巾広さを示したものです。

中でも二輪車館は若い人たちの姿がひとさわ目立ち、連日クロ山の人がだかりができるほどの盛況ぶりでしたが、この中で一番人気はもちろんヤマハ。

ことしは、特にオートバイを愛する若人の期待にこたえて、ヤマハ技術の巾広さをあますところなく見ていただくという期待のニューモデルが、ずらり登場。わが国初のロータリー二輪車RZ201(参考出品)はじめ、いよいよ充実した2&4スポーツ、まったく新しいレジャーバイク、そしてトレール、MX、スノーモビルと、各フロアは連日押すな押すなの大盛況。ことしもまた二輪車館の話題を完全に独占して、ヤマハの名を強烈に印象づけたものでした。

ロータリー-RZ201

参考出品

二輪車館を訪れたすべての人の目を奪い、足をとめさせ、そして一様に驚きの声をあげさせたのは「ヤマハロータリー-RZ201」。

二輪車にもその出現が大いに待たれていたロータリーオートバイ、それがついにヤマハから姿を表わしたのです。

しかも、2サイクルエンジンを手がけては世界最高のヤマハの技術がフルに生かされ、ヤンマーディーゼルとの共同開発になる、ロータリーエンジンは、かすかずのオリジナル機構を盛込んだもの。

スポーツ車時代、トール時代といつの時代にも、オートバイの新しい時代を切りひらいてきたヤマハから、またまた「待望のロータリーオートバイ」の登場——それだけに、この期待のマシンをい



静かなる衝撃



ヤマハ

く重にも取り囲んだお客さまたちは、みな大きな衝撃をうけた様子。RZ201は、文字通りショーの主役を演じ、話題を一手に独占したものです。

「ほほう、ロータリーオートバイ……」このショーの総裁・高松宮殿下と同妃も、ことのほか興味深げにRZ201の前に足を止められ、ご案内役のヤマハ発動機・根本重役の説明に大きくうなずかれていた。

そして後日、ヤマハコーナーを訪れた皇太子殿下もまた、大いに驚かれた様子で、しばしRZ201の前に立ちどまっていた。



スポーツ TX500

参考出品

貫録のXS650-Eに、人気のナナハンTX750も加わって、いよいよ充実さを増した、4サイクルスポーツシリーズ。

そして、このショーでは話題の500cc級・TX500もベールを脱いで新登場。

しかも4サイクルツイン、DOHC(ダブル・オーバーヘッドカムシヤフト)、8バルブ(吸排気バルブが各二個)というレーシングマシンなみのメカニズム——というだけに、つめかけた若者たちの関心を一手にうけとめ、RZ200にも劣らぬ強烈な印象を与えていました。

「さすが2&4ヤマハ、ついに500も登場だ」と若いマニアの話題を一手にさらったTX500。



▶スバリこれからのスポーツタイプは——TX&RD。



19th Tokyo Motor Show

ロードを走る二つの風 TX&RD ヤマハ

新開発のエンジンは、DOHC、8バルブしかもTX750同様バランスも装備。新しい風、TX500に寄せ、若者の期待は絶大でした。



▶「そしてお客さまは、「これだ、これだワンタフル！」とお目当のTXにまたがって、まさにゴキゲン



▶「お嬢サン、ナオハンとニ？」とインフォメーションガールも、押しよせる内外のヤマハファンの期待におおわらわ。



▶「ウワァー、こんどは私にも運転させて！」そう、スリムなTX750は、なによりもクセのない乗りやすさ、取りまわしやすさが身上。

スポーツ RD250

参考出品

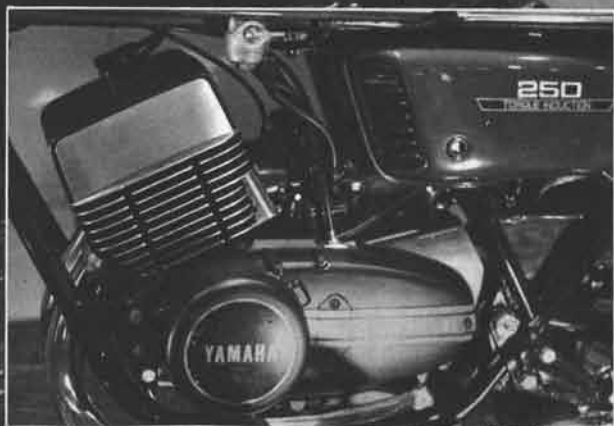
ロードを走るもうひとつの風・2サイクルスポーツシリーズは、FX50からRX350プロまで、レーサーの血をひく生粋のロードスポーツとして、すでに定評のあるところ。

そして、このシリーズにもまったく新しいRD250が、トレールシリーズですでに実績も十分なトルクインダクションエンジンを搭載して新登場。

また「YAMAHA it's a better machine」で世界に冠たるプロダクションレーサー・TD3、TR3、そして水冷ワークスマシンのTZ350が若者の熱い視線を一身にうけとめて、「さすがスポーツはヤマハ」の声をほしいまみにしていました。



こちらが新しい2サイクルの「風」RD250「オツ／トルクインダクションだ！」
「なに、6段変速」とすでに定評のヤマハスポーツシリーズの、ますますの充実ぶりに、お客さまは目を見はついていた。



ロードを走る二つの風 TX&RD ヤマハ



かきりなくモータースポーツの世界をひろげるヤマハに、スポーツレジャー時代の若者は、大きな期待を寄せていた。



▲「オレとオマエはライバル同志」オートバイには、ちっと若いというお客さまも、ヤマハの良さは先刻ご承知。おさわりコーナーは展示車を、免許制限ごとに分けて好評でした。

▲「オイ、さすがア、ワールドチャンピオンマシンTR3と、兄弟分のTR3だ！」若いお客さまは積極的。展示台まで上がって、どうとうまたがっちゃって……。

▶「チーム、TXもいいが、ツウの軽快さも最高！」そう、2&4ヤマハは、お好みに応じてどちらでも……。

▲SL 会や安全運転教室コーナーには、連日長蛇の列。そして上のマルチテレビでは、YGSF や世界GPロードレースの模様が放映された。



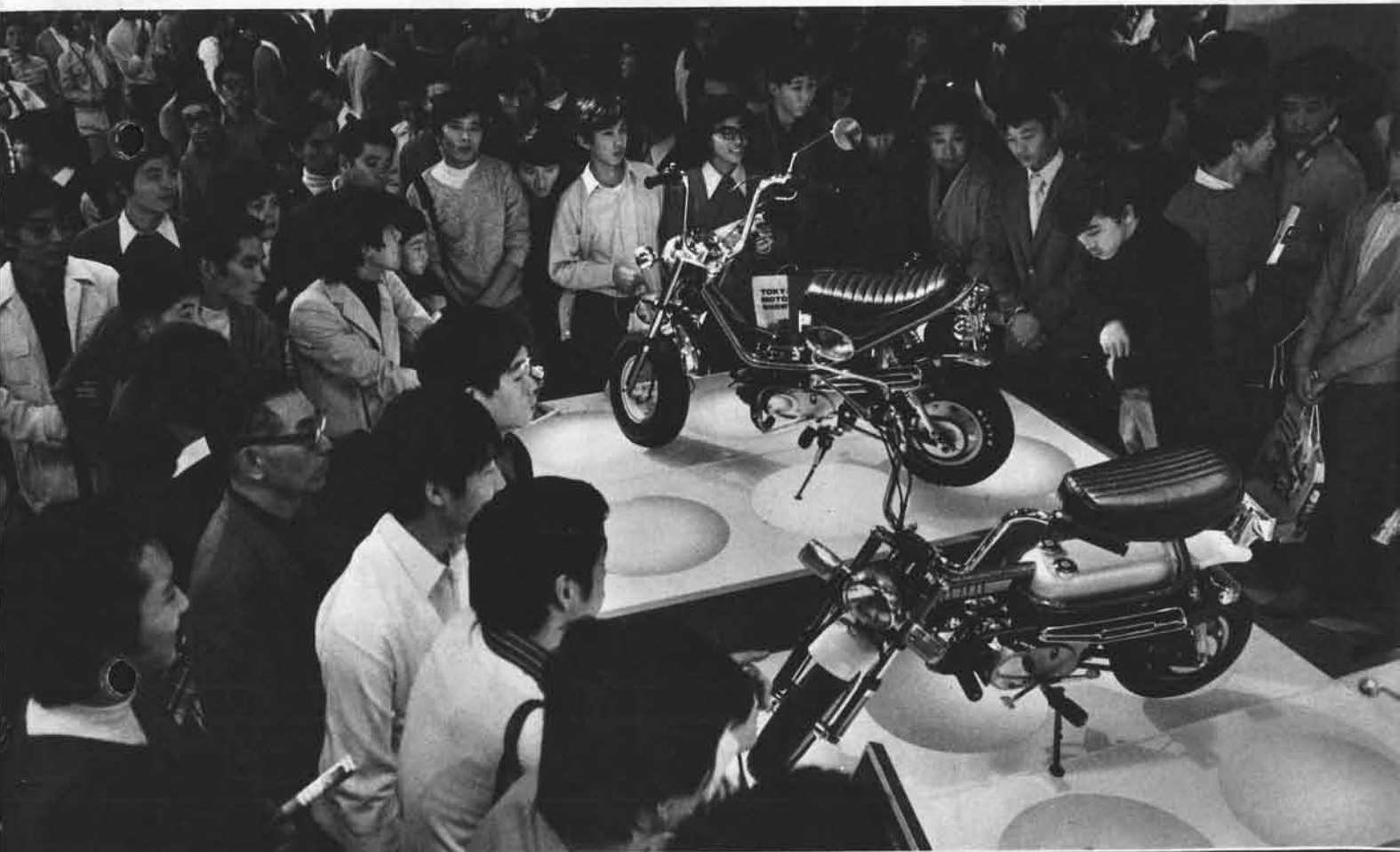
レジャーバイク

参考出品

しゃれたセンスの若者や身軽な行動派の人びとに、小さな大ものとして人気抜群のヤマハミニがGT50とGT80にグレードアップすれば、いっぽう、まったく新しいヤマハオリジナルのユニークなレジャーバイクも二機種登場。

「ウワーツ、かわいい」と、おもわず小さな歓声につつまれていたのが、このミニとレジャーバイクのコーナー。楽しいショーの立役者として、老若男女、ほんとにみんなの人気を集めていました。

「ウワーツ、かわいい」「オツ、しゃれてる」「オツ、しゃれてる」と男も女も、おとも子供も、一様に微笑みをたえてヤマハレジャーバイクに見入っている。



「なるほど、シートの下がカソリンタンクが」
「ほんとにナウなバイクだよ」



「ウワーツ、こんなバイクでお買い物に出かけたら……」

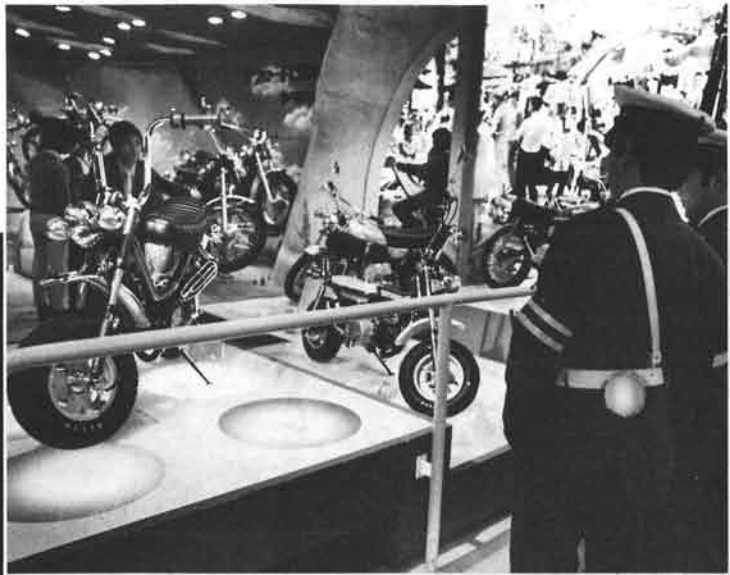
小さいでおしゃれな

ヤマハ

「ママー、ボクにも乗れそーう！」——と、みなさんそれぞれに、はやくも楽しいレジャーバイクで走る姿を思いうかべているよう。



「オイ、これなら渋滞道路のバトロールも楽しくなるぜ！」



「ウワーい、らくらくメイトだ」ご家族連れや、女性層は、だんぜんヤマハメイトがお気に入り。みなさん、生活必需品として考えているようだ。

グレードアップしたミニは、相変わらず人気のマト。「TCMSのミニレースにゼビ……」という若者。青い目の坊や

は「これなら、ボクの国ではライセンスなしでOK、ベリー、グーネ！」と、このまま乗って行ってしまいそう……。



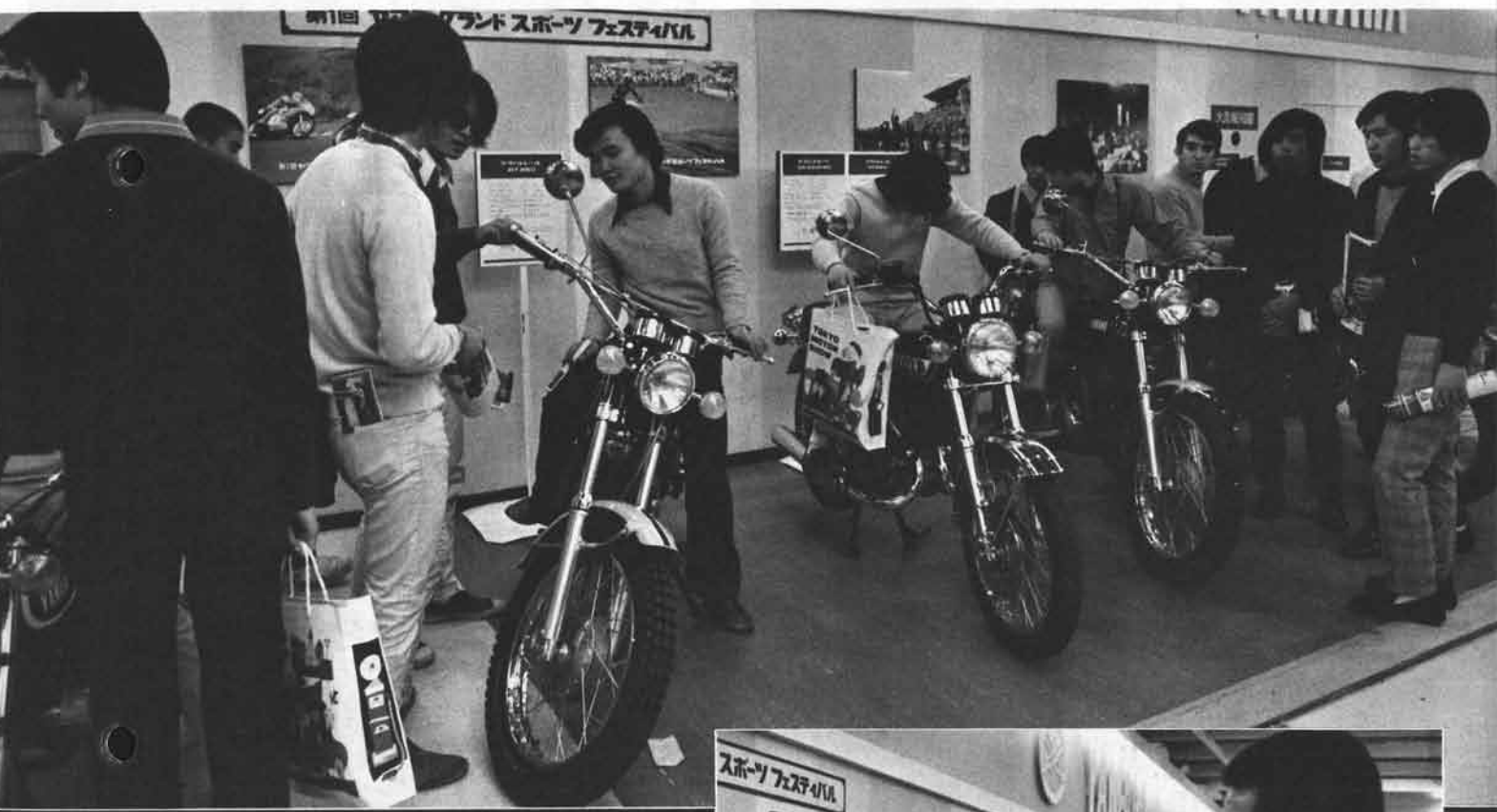
子供もおとなも、やはり男性は女性に……、インフォメーションガールも人気のマト。手にしたチラシが、とぶようになくなっていく。



レーベル&ニューMXシリーズ

ヤマハがオートバイの世界にトレール時代を告げて5年、世界中にまったく新しいスポーツレジャーをひろげ、その主役を演じてきたものですが、もちろんいまもってその目ざましい活躍は一番人気。ショー直前に、カラーリングを一新したトレールシリーズが賞録も十分に、お客さまの熱い視線をうけとめていました。

そして、ことし一年、トレール杯はじめ各地のモトクロスを席巻、またまたモトクロスの世界を変えた、MXシリーズが、トルクインダクションエンジンを積んで新登場（参考出品）はやくも実戦派の若者たちは、「パワーは？ 乗りやすさは？」と説明員に熱心な口調でせまっていました。



▲「来年は、これでトレール杯にチャレンジだ、もちろんYGSFへ！」こんな抱負をいだいて長い間、トレールにまたがっているお客さま、ずいぶん多かった。

賞録のトレールシリーズを目のあたりにした若者は、さっそく実物にまたがって……。こちらでは、トレール教室、安全運転教室の1級インストラクターの親身になっての応待ぶりが好評。



19th Tokyo Motor Show

オフロードに燃える熱風

ヤマハト

「オッ、あのMXが変った!」と各地のモトクロスでの速さは、お客さまがよう〜くご存知。90から500まで、すべてトルクインダクション、アップマフラー、そしてオイルタンク付のリヤサスに統一。



▲「90ccもアップマフラーだ!」ヤングマシン
MX 90に「このシリーズなら、やっぱり来年
もモトクロスはヤマハだ!」のお客さまの声。

海に向こうでも、日本以上のモトクロスブーム。「これはヤルゼー!」と、早くも輸出モデルのSC500、MX360の上陸が待ちどおしそう。



19th Tokyo Motor Show

*****楽しい冬をつくる新しいスノーレジャー*****

ヤマハスノーモビル シリーズ

新しいスノーレジャーをひらいて5年、もうすっかりおなじみとなったヤマハスノーモビル。雪国の人たちばかりか、降雪のない地方の人びとにまで、新しいスノーレジャーといえ、即スノーモビルというほどの人気ですが、今回のショーには、スポーツモデルのGP 292 B、GP 433 B、S 300 D X、S 350 D Xの4機種に加え、二年連続世界選手権を勝ちとったSR 643も登場。年ごとに高まるスノーモビルの人気にいつそう拍車をかけ、ヤマハ技術の巾広さを示して好評でした。



「なるほど、トラックパターンが変ったネ」さすが、見るどころがちがいます。



「ホラ、これがスターター……」もうことしの冬が楽しみな、お二人。



秋の一日を、モーターショー見学にすごされた礼宮様も、まったく新しい乗り物・スノーモビルには、大いに興味を示された。

▲ご覧下さい、この人気！行動的なご家族の行動的な冬、まさにそれはスノーモビルから。

話題独占! 期待のモデルずらり登場!!



“静かなる衝撃・ヤマハロータリー RZ201”
“ロードを走る二つの風TX & RD”そして“小
いきでおしゃれなヤマハレジャーバイク”と、
ことしのヤマハコーナーは、期待のニューモ
デルがずらりそろってはなやかにデビュー。

巾広い高度な技術力でスポーツレジャー時
代をリードするヤマハは、若者から家族連れ
まで、あらゆる人びとにその名をつよく印象
づけ、ことしもまた二輪車館の話題を一手に
独占して好評でした。

参考出品



ヤマハロータリー RZ201 衝撃の登場

振動や騒音が非常に少なく、高出力が得やすいうえに回転範囲が広く、トルクがフラットである——という多くのすぐれた特長を持つロータリーエンジン。

それだけに、その登場が待ち望まれていたロータリー2輪車。

それがいま、ついにヤマハから大きな衝撃を呼んで新

登場——その名もヤマハロータリーRZ 201。

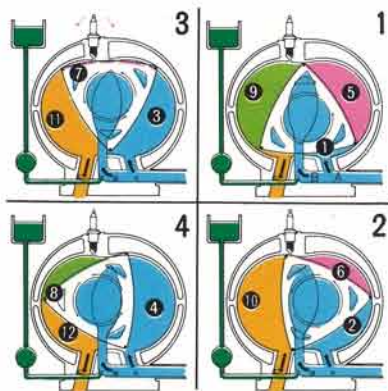
しかも、ヤマハとヤンマーの共同開発になるエンジンは、水冷・横置きツインローター、CCR潤滑、コンビネーションポートシステムとオリジナルメカをふんだんに盛り込み、洗練された車体構成とみごとに調和して、まさに“静かなる衝撃のマシン”です。



スポーツ時代、トレール時代とつねに新しいオートバイの世界をリードしてきたヤマハ、そしていままたロータリーファイリングで、新しい世界を開くのです。

ロータリーエンジンは、シリンドラの中をピストンが上下に往復するいわゆるレシプロエンジンとは異なり、ローターケースの中を、ローターとシャフトが回転するもの。したがって、振動や騒音も少なく、構成部品が少ないので軽量コンパクト、しかも有効回転範囲が広く、トルク変動が少ないなど、多くのメリットを持つものです。

ロータリーの作動は、左図のようにローターの回転によって生じるローターとケースとの間(作動室)の容積の変化によって吸入、圧縮、爆発、排気の各行程を行います。つまり、ローターの一回転で三回爆発が生じ、出力シャフト(レシプロのクランクシャフト)は三回転、いかにえれば出力シャフト一回転毎に一回の毎回爆発が生じているわけです。



右図の一边だけをご覧ください。

①で吸入孔が開き、この状態からローターが回転すると作動室の容積は大きくなり、吸入行程の開始です。

④で作動室容積が最大になり、⑤から圧縮行程に入ります。作動室容積が最も小さくなる、つまり

横置き2ローター ^{ツイン} CCR潤滑 コンビネーションポートシステム 水冷ロータリーエンジン



冷却は水冷式、しかも潤滑が、ヤマハオリジナルのCCR(Charge Cooled Rotor)システム。つまりキャブからの混合気とオイルとを混合してローターを潤滑するもの。新気の充填が潤滑の役目を果たすわけで、一般のロータリーのようにオイルをローターの中に流すこともなく、したがってオイルクーラーなども不要。ここにもヤマハオートループ技術がフルに生かされ、ロータリーエンジンの特長「軽量、コンパクト」をさらに強めている。



ローターの回転方向が車の進行方向と同じ横置き、したがってローリング(横ゆれ)はゼロ。これも吸排気ポートやプラグ位置などヤマハ独自の工夫によってなされたものだ。ローターハウジング手前には、一次伝動用の特殊サイレントチェン・ベルトが納められている。「レシプロに換算すると排気量は……」との質問が非常に多かった。ちなみに1ローターは330cc。68PS/6500rpm、7.8kg-m/4000rpm、CDI点火、セル始動、5段変速。



まったく新しいパワーユニット「ロータリー」。その高度な走行性能を支えるブレーキは前輪ダブルディスク。しかも、マスターシリンダーが左右独立しているのも、万一片方が作動しなくても……という完璧なもの。フロントタイヤは3.50-19。



「ウワッ、リヤブレーキもディスクノ」でいまさらながらにロータリーの走りに期待を寄せられるお客さまも多かったもの。そればかりじゃないノ特殊マフラーで「静かなロータリー」をさらに強めている。リヤタイヤは4.00-18。



衝撃のエンジンとみごとにマッチした車体構成は、いかにも乗りやすそう。全長2195mm、全幅910mm、全高1175mm、ホイールベース1485mm、車重はTX750と同じ210kg。

完全に圧縮され点火爆発するのが⑦、そして⑧から膨張つまり動力が得られ、⑩で排気孔が開いて①まで排気が行なわれる、これがくりかえされるわけです。

★★★★★

《コンビネーション ポートシステム》

ヤマハロータリーRZ201の、高性能のひみつ・コンビネーションポートシステムとは――

ロータリーエンジンの吸入方式には、ローターハウジングのま横から吸入するサイドポートシステムと、吸入孔がローターハウジングの周上にあつて作動室に直接混合気を吸入するベリフェラルポートタイプがあります。

そして、サイドポート(右図B)は、吸気が渦流(スワール)を起こしやすく燃焼が安定するので低回転時には有効だが、吸入が直接的でないので高回転時には不利。

またベリフェラルポートは(右図A)。吸入時間が長く、ストロークに吸入できるので吸入効率は良く高速時には十分な効果を発揮するが、低速時には吸気が排気に混入しやすいといったようにそれぞれ一長一短を持つものです。

そこで、この両方を組み合わせ、それぞれの長所を生かそうというのが、RZ201に採用されたコンビネーションポートシステムです。

これにより、低速での安定性と高トルク、高速での高出力を得て、低回転域から高回転域まで安定したムラのないパワーを発揮するので

「新しい発見 2 & 4」から一年、TX750も加わってFX50からTX750まで、ますます充実したヤマハスポーツシリーズ。

さらに今回のショーで、4サイクルシリーズに注目の500cc・TX500、また2サイクルシリーズにRD250が新登場。

ロードを走る二つの風“2 & 4”ヤマハスポーツシリーズは、より魅力をましたフルラインアップです。

スポーツシリーズ

2サイクルの“新しい風”RD250。トルクインダクション（7ポート+ピストンリードバルブ）エンジンに6速ミッションをそなえてFX、DXですでに定評の“走り”には、さらに磨きがかけられた。

247cc、54X54mm、30PS/7500rpm、2.9kg-m/7000rpmそして車体寸法はDX250と同じ。



レーサーの血をひく“走り”に徹した2サイクルスポーツシリーズ。この魅力のシリー

ズも新鋭RD250（参考出品）の登場でグンとひきしまった印象を与えていた。

TX & RD

DOHC (ダブル・オーバーヘッドカムシャフト)、に8バルブ (吸排気バルブが各2コ) というハイメカニズムが、はやくも注目のTX500。 balanサー機構、前輪ディスクブレーキ、そしてメーターまわりなどはTX750同様。それだけにTX500の走りに寄せられる期待の声は多かった。

● 4サイクル

● 2サイクル



▲ "YAMAHA it's a better machine" —— 3年連続、通算8度目・世界GP250cc級チャンピオン——記録が立証する最強のプロダクションレーサーTD3 (右)と350cc級のTR3。



ファイブリングは“風”——4サイクルのスポーツシリーズ、XS650-E (左)、TX750 (右)そして注目のTX500 (参考出品)

▲ '72世界GP350cc級で大活躍をみせた350cc水冷ツイン・TZ350。はやくも来シーズンの活躍が話題のマシンだ。

しゃれたセンスの若者や身軽な行動派の人たちのかっさいを浴びて、ヤマハオリジナルのレジャーバイク二機種登場。

いっぽう「小さな大物・ヤマハミニ」で評判のFT50/JT60は、その名もGT50/G

T80と、さらに大きくグレードアップ。(GT50/GT80は12月発売)

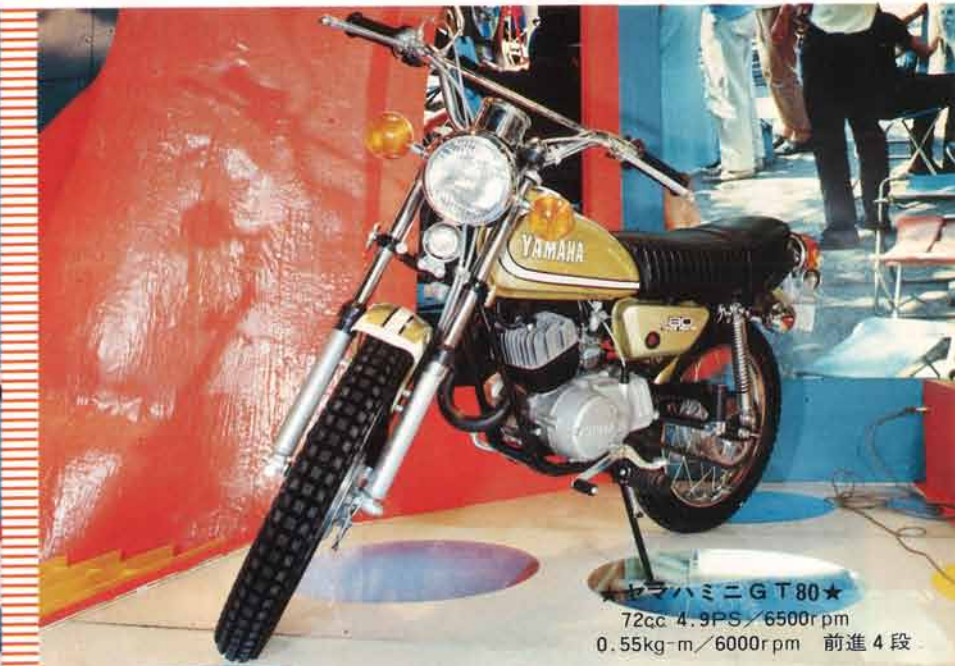
スポーツレジャーにタウン走行に、ヤマハレジャーバイク&ニューミニが、またまた新しい二輪車時代をひろげていきます。



楽しさいっぱいのヤマハレジャーバイク(参考出品)
おしゃれた街角にピッタリとけ込んでしまいそうなユニークなスタイルが、人気を呼んでいた。



★ヤマハミニGT50★
49cc 4.0PS/
7500rpm 0.45kg-m/
5000rpm 前進4段



★ヤマハミニGT80★
72cc 4.9PS/6500rpm
0.55kg-m/6000rpm 前進4段

「あのヤマハミニが生まれ変わった」とはやくも人気急上昇のニューミニGT50/GT80。ミニのデッキイ走りっぷりはTCMSでも十二分

に実証済み。新たにトルクインダクションエンジンを積んで、デザインも走りもグレードアップ。一段とトレールっぽさを増しての新登場。

ニューレジャーバイク & グレードアップ

銀世界の新しい主役 スノーモビルシリーズ

雪の新世界をひらいて4年、もうすっかりおなじみとなったヤマハスノーモビルシリーズ。今回のショーには'73年モデル8機種のうち、楽しい冬をつくる新しいスノーレジャーの主役としてGP292Bはじめ4機種が登場。イーグルリバーで2年連続世界選手権を獲得したSR643も加わってガ然人気上昇。



雪のシーズンももう間近、それだけに新しいスノーレジャー・スノーモビルに寄せられる関心は高く、「どこへ行けば乗れるの?」と熱心な質問が殺到。



スノースポーツの覇者SR643もお目見得。「ほう、これがスノーモビルのワールドチャンピオンマシンか!」とスポーツ好きの若者たちの関心を一手に集めていた。



まさに“小さいでおしゃれ”、都会の雑踏も楽しい街角に一変。ス

イススイスイと走りまわる姿が目に見えよう。

スポーツレジャーはミニでテックカク、そしてレジャーバイクで、小さい。に街を……。あらゆる人びとに楽しさを味わっていただけのヤマハミニ&レジャーバイク。若者はもとより、ご家族連れの人気がひととき高かったのがこのコーナー。



貫録のトレールシリーズ

& ニューMXシリーズ



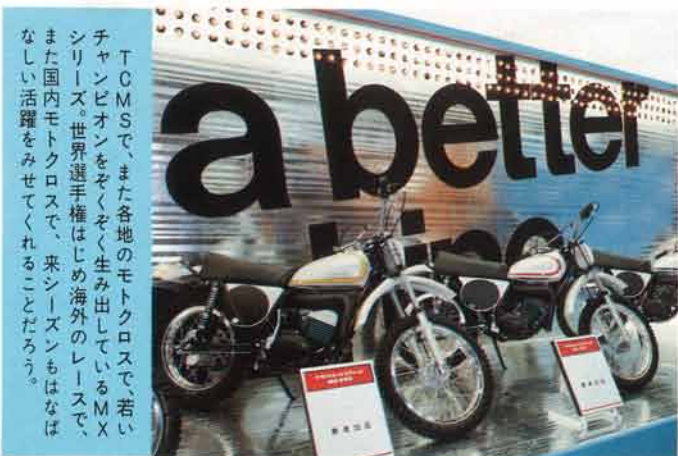
ショー前にカラーリングを一新、ますます磨きぬかれた貫録のトレールシリーズ。MRからRT360までが、またまた新しいスポーツツレジャーの魅力をひろげていく。

オートバイにまったく新しい世界“トレール”をもたらして5年、貫録のヤマハトレールシリーズはMR50からRT360まで、カラーリングを一新してますます磨き上げられての登場です。

また、今シーズンモトクロスの世界を変えて、もり上がるモトクロスの主役を演じてきたきつすいのモトクロスサー・MXシリーズは90~500ccまで(いずれも参考出品、360と500は輸出モデル)ニューエンジンで力強いデビューです。



ノービスからセニアまで、若いモトクロスライダーの圧倒的な支持をもつMXシリーズ。より実戦的なスタイルに生まれ変わり、そろってトルクインダクションエンジンを搭載、そしてリブのオイルタンク付になっていく。

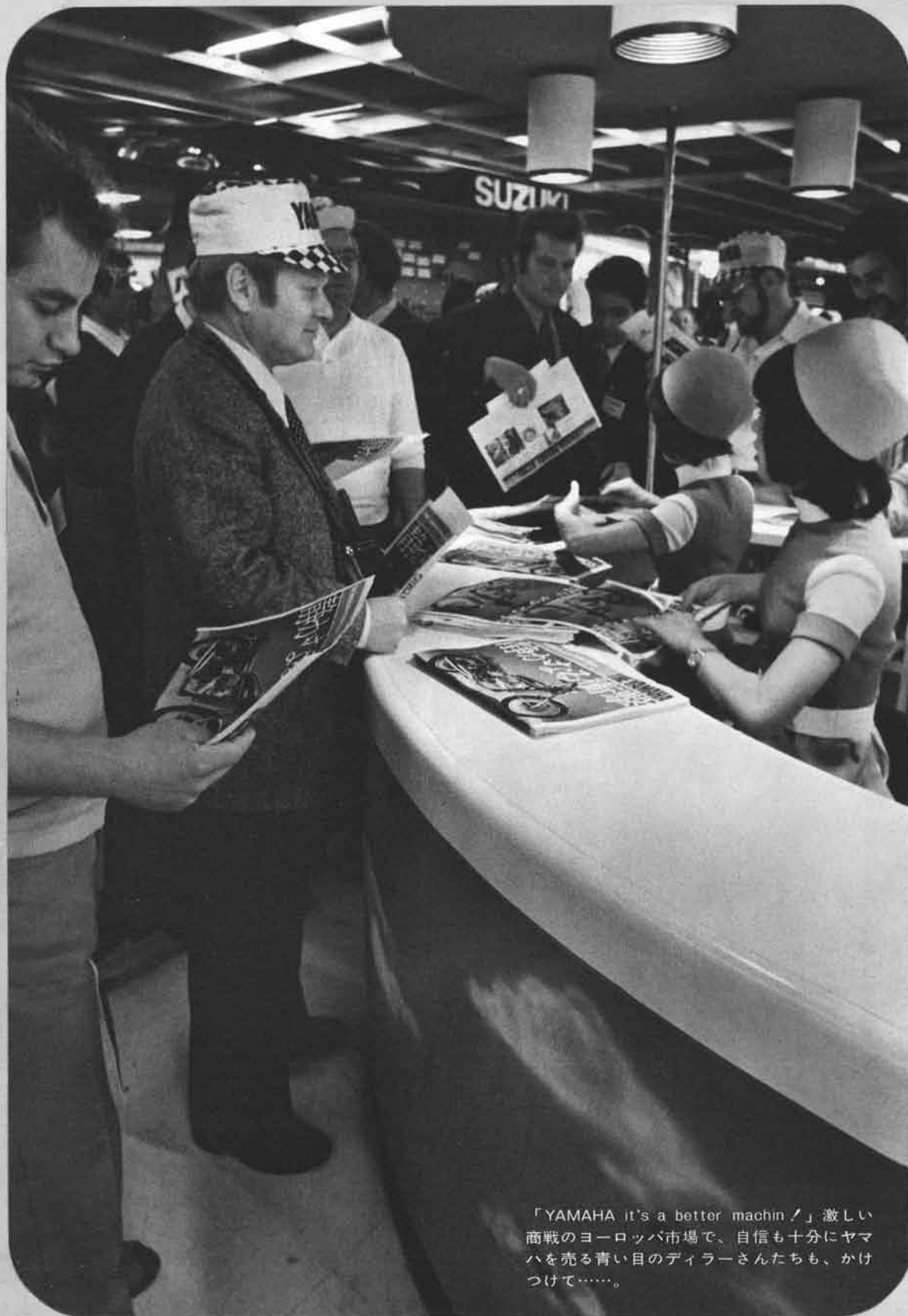


TOMSで、また各地のモトクロスで、若いチャンピオンをぞくぞく生み出しているMXシリーズ。世界選手権はじめ海外のレースで、また国内モトクロスで、来シーズンもはなばなしい活躍をみせてくれることだろう。



50ccから150ccまで、ミニ、トレール、スポーツ、メイトにビジネスとカラフルヤマハ、パワフルヤマハはこらんとおりのフルライオンアップ。もちろんスノーモビルも加わって、オールシーズン、オールラウンド、ヤマハは楽しさと安全をつなぎます。

ヤマハに集まる期待の声、こえ、コエ!



日本全国は、いうにおよばず遠く海外からのお客さまもワンサと詰めかけ、文字通り押すを押すなの二週間だった第19回東京モーターショー。

スポーツレジャー時代の若者に、ガ然人気の

二輪車館で、ことしもまた一番人気のヤマハ! これは、クロ山の人だから、でヤマハに寄せられるお客さまの期待の声、みんないつも新しい二輪車時代をリードするヤマハに、絶大な期待を寄せていました。

「YAMAHA It's a better machine!」激しい商戦のヨーロッパ市場で、自信も十分にヤマハを売る青い目のディーラーさんたちも、かけて……。

ヤマハに集まる期待の声、こえ、コエ!

断然シャープなヤマハ・コーナー。スポー
ツレジャーを指向するヤマハの情熱が、展示
場にいっぱい。

これを受ける観客も、これこの通り汗をか
いての奮戦観戦!?

日本全国、津々浦々から駆けつけたヤング
や報道陣に加えて、今年はヨーロッパ13カ国
から、ヤマハ・ディーラー百余人が来場、二
輪車ファンの話題をさらったロータリー・エ
ンジンに「ワアオ ワンダフル!!」を連発し
ていました。では、さっそく彼らの声を……。



フランスからきた
ムッシュ・フロマン

「オー トテモ、感動的デース」と叫んで
みせたのは、ヤマハ・グループでフランスか
らやってきたムッシュ・フロマン(M. Froman)。
ラテン系人種特有の、小ぶとりな小さな体で、
愛敬をタップリふりまきながら、ロータリー・
エンジン・コーナーにかじりつき。しばらく
ムッシュ、オンダと熱弁をふるって何ごとか
しゃべっていたが、汗をかきかき、また別の
コーナーへ。

同じように体の小さなムッシュ・オンダ(M.
Onda)は苦笑しながら、こういった。

「フランス語では、たとえば林も、本田も
うまく発音できない。ムッヘホがいえない
ので、林はアヤシに、本田はオンダになって
しまう。だから、わたしのことを皆が笑う。へ



ちょうど来日する二日前、この発表を知ら
されたんですが、もう胸がワクワクしました
よ。でも、これからが大変です。早く納車し
ろ、納車しろと、この連中から背中を突っつ
かれますからね。」

と、嘆息まじりのうれしい悲鳴。
それにヨーロッパでは、50cc以下のミニバ
イクは無免許で運転OKなのだそうです。だ
からヤマハミニやレジャーバイクも、きつと
大ウケするでしょう、と、アムステルダム
のベウマー氏、汗をかきかき大張切り。

さて、こちらは、アラリ単身、観光旅行の
途上でモーターショーにやってきた、フィル・
バーグ氏(Phil Berg)。アメリカはサンフラ
ンシスコから、悠然と海を渡ってご旅行中と
いう、うらやましい身の上です。

「ぼくの友人はYAMAHAファンで、二
年間ずーっと乗っています。でも一度もトラブ
ルなし。ヤマハはいいクルマです」とVサ
インをしてみせてくれた。

白バイのおまわりさん、自衛隊の隊員さん
も、制服のまま、今日は観客に仲間入り。

「ロータリー・エンジン、仕事を離れて乗
ってみたいですね。」

一方、こちらは、ヤマハコーナー中央で、
TX-750にかじりつき、うちまたがった
小林泰夫君(18才)。目下、自動車専門学校の
2年生とやらで、機械のことにさすがくわし
いのです。

だから愛用のマシンは断然ヤマハ。目下の
愛用車はRX-350だが、次はこのTX-750へ

WOW Wonderful!!

ワ オ

ワ ン ダ フ ル

オンダがヤマハをバリバリ売ってる、変な奴だとネ」

西ドイツはデュセルドルフからグループと一緒にやってきたブレットハウアー氏。ロータリー・エンジンはパワーフルだから、商売にはもちろんだが、是非自分で乗ってみたいと、ドイツ人らしい慎重な態度で感想を述べてくれた。



オランダ・ヤマハ・モーターのミスター・ベウマー

「いいですか、このグループは大変なもんですよ。何しろ13カ国から百三〇人近い人が集って来たんです」

と、得意まん面、うれしそうに話してくれたのは、オランダはアムステルダムからやってきた、ヤマハ・モーター・N・Vのミスター・ベウマー (Mr. Beumer)。

若々しい頬を紅に染めて、長身を折りまげるようにして、はなしてくれた。

「とにかく、ヨーロッパでは、自動車専用道路ではスピード制限がないんです。だから走り始めたら、そのトタン、スピードをいっぱい上げて、絶対落とすことなく最後まで走る。だから、オートバイの生命は、ヨーロッパではスピードなんです。

でも、国によっては騒音に対する罰則が厳しい。西ドイツについてフランスも厳しくなってきました。だからロータリー・エンジンは素晴らしい開発です。」



750だ、と友人と目を輝やかせている。「ヤマハコーナラーが一番おもしろいなア。だって、新車が多いものね」

府中からやってきた松本三喜男君 (18才) は、ヤマハミニが欲しいようだ。

「ボクは遠出用に四輪車を持って、近くでは小型のミニを乗りきれいだから、街の中をデザインがあんまりきれいだから、街の中をまっ最初に走るのにはちよっと気がひけるけど、でもいいなア」

「わたしはね、あのスノーモビルに大変興味があるんですよ。あれね、雪の上ばかりじゃなく、地上でも使えるようにしたら、どうです？」

キャタピラをもっと前まで出して、スキーはとりはずし自由にするんです。そうしたらせまいところも自由自在に簡単に曲がれる。モオレッツに普及するんじゃないですかね。一年配のこの方は名古屋からいらした。連れの男性も、ウムウムと隣でしきりに肯づく。どうやらお二方とも同意見らしい。

この名案をお持ちの二人に、ゼヒお名前を頼んだが、顔を赤くして照れちゃって、急ぎ足で群衆の中に消えてしまったのです。

……エエと、それからそれへと、いろいろな意見、感想がワンサワンサ。

小さなお子さんから六〇代のオートバイファンまで、ヤマハコーナラーは、訪れる群衆の足を釘づけにして、熱烈な讃賞をほしきままにしたものでした。

シヨも最高潮の一日、ご存知世界GP250cc級のチャンピオン・J・サリネン選手もヤマハコーナラーへ。ファンへのあいさつの後のサイン会は、あまりの人気で途中で中断したほどでした。

“スノーランド勝原”の文字も鮮やか!

こんにちは……

ヤマハ
……です



雪国の販売店は冬のあいだは冬籠り…というのが常識だろうときめこんで行ったらとんでもない、お訪ねした菊川商会さんは“二輪”と“スキー”の二本立て。そして昨年からは新しいスター商品“スノーモビル”も加わって、お店のセールスカレンダーは春夏秋冬息つくまのない繁昌ぶりでした。

オートバイとスノーモビルで 365日お店繁昌

福井県大野市五番街 ● (有) 菊川商会

大野市は、天正3年金森長近が築城、市街地を建設しました。そのおかげで、今も街路は京都のようにきれいなコバン目に整っています。





菊川勝利社長

米激しい商圈を生きぬく「伝統」

九頭竜川中流の小さな盆地。人口四万八千人の福井県大野市にオートバイ店が二十四店とは驚きます。その「激戦地」のまっ只中で、菊川商会さんは、大野市はおろか北陸で最上位にランクされる販売実績を誇るお店です。それもそのはず、歴史が違います。

菊川商会さんの歴史は、とおく大正時代にさかのぼる。おじいさんの平吉さんが現在地に開業したのがはじまり。その頃は木リム製の自転車車が走っていました。古き良き時代から昭和の激動の日々を乗り越えて、いまは二代目の菊川勝利社長と三代目菊川幸雄専務が、お店の伝統をしっかり守っています。

社長さんは明治三十八年生れというから、もう古稀も真近いお齢ですが、なかなかどうして矍鑠たるもの、毎日元気にお店の采配を振っています。その日も忙しい商談のさなか、「ハゲ頭の写真など撮らんでええ」とおっしゃる社長の写真だけを、やっとなと写すことができました。

菊川幸雄専務も負けず劣らず忙しい人です。社長ともども大野市ロータリークラブの古いメンバー。顔の古さ、ひろさを買われて、店の経営実務のほかにも、色々顔を出す機会が多い。その日も、勝原スキー場ロッジで行われている打合せに出掛けました。

会合は、日本モーターサイクル協会主催・

七三年北陸シリーズモトクロス大会前哨戦の準備打合せ会です。福井では久々のMFJモトクロス大会とあって、会議にも熱が入ります。会場設営や関係筋への事前折衝に菊川さんは無くてはならないメンバーのようでした。

米冬場もスノーモビルで大忙し

さて、菊川商会さんの「セールス・カレンダー」は？ オートバイの販売は、やはり雪融けを待ちかねて三月ははじめからスタート。四、五、六月あたりがヤマ場で、九月に入るとそろそろ今年も終りです。車種別では春先の三、四月にはスポーツ車がやはり関心の的のこりの六、七、八月頃は実用車が主体になります。

この町では、実用車が六〇％で、ビジネスタイプ一〇％と「足がわり」の実用向き需要が圧倒的ですが、山間地という地勢の影響もあり、五〇cc級のトレール車が一〇％程度を占めています。

オートバイの季節と並行して、菊川商会さんでは自転車の季節があります。なにしろ「木リム時代」からの老舗ですから、底力があります。昨年の夏、山向うの村でひらいた出張即売会では、一日に数十台を売りさばく有り様でした。

すっかり遅くなりましたが、話わすれてい



「オジちゃん直して！」とどび込んで来た少年と楽しそうに語り合いながら…福岡さん。



モトクロス会場の下検分に来た菊川専務とヤマハ北陸・島田所長。



たわけではありません。ここは雪国です。菊川商会さんは大正の末から自転車とあい前後してスキーの製造をはじめました。今は販売だけですが、スキー用品全般を扱って、冬場の商いの基盤となっています。そして、昨年からもう一つの新戦力が登場しました。ヤマハスノーモビル！

森山スキー場、六呂師スキー場、勝原スキー場、そして今年オープンされる九頭竜スキー場——景勝九頭竜峽谷をのぞき込むようにしてゲレンデが点在しています。

この勝原スキー場の社長さんとは、菊川専務は年来の友達付き合い、高まって来たスノーモビル機運を早々と見越し、じっくり打合せで、昨年ヤマハスノーモビルを一挙に十一台導入しました。ヤマハスノーモビルS350C一台、S300B十台です。残念ながら去年は雪不足で各ゲレンデとも悩まされましたが、今年にはや大雪情報も聞かれており、スノーモビルも存分に活躍することでしょう。今年開設される九頭竜スキー場にも、菊川さんはヤマハスノーモビル六台（S300B五台、S350C一台）を成約させました。これで冬場のスケジュールはびっしり。菊川



ステップを加工する東さん。

専務はじめ三人の店員さんは整備に大童になることでしよう。しかし菊川さんは、「ゲレンデ収容力の物理的限界もあるが、最終的には各スキー場を合計して常備三十台位までには持つて行きたい」と意欲満々です。「ただ売込めばいいというのでは無くて、完全なアフターサービス体制で臨むことはもちろんのこと、安全運転指導からレンタル経営の採算面についてまで、第一線の販売マンがじっくりとPRしていく積りでなければ、健全なスノーモビル普及は期待できない」とまで語ります。

福井県下スキー場のうち嶺北、嶺南あわせて七カ所のスキー場には、ヤマハスノーモビル五台ないし十数台が納入されています。今シーズン以降の傾向として、業界ではスポーツレジャー需要の大巾な伸びを予想していますが、若者たちは、はやくも新しいSLの魅力に注目しています。冬場のご商売の拡大と年間つうじての安定経営の増強のために、雪国の販売店さんはいよいよスノーモビル拡販のアクセルを踏み込んだようです。

「内容の充実した店……つまりは専門技術のエキスパートの店として看板を守りつづけた」と語る菊川専務の言葉の背後には、黙々と整備をつづける店員さんたちの姿があります。東さんは二十余年、福岡さんは八年、それに定時制高校に通いながら働く谷内君の三人です。「店員がみんなながいこと頑張ってくれる。これが財産です」と菊川さんは相好をくずして話していました。



小林君兄弟が出場のノービスクラス。泥沼のコースで、テクニックよりは、腕力くらへのレースに

《TCMS⇩YGSF⇩全日本》

「トレールランド下田」、信越地方のお客さまには、TCMSや、またトレール教室の会場としておなじみの、このコースのすぐ近所、新潟県南蒲原郡下田村にモトクロスに打込む若者のクラブ「下田レーシングチーム」がある。同村のヤマハ販売店・清水輪業さんのスポーツクラブとして、この4月に発足したばかりのものだ。

現在メンバーは6名、小所帯ながら、TCMSをはじめモトクロスに対するファイトは十分な仲間ばかり。

こんな仲間の代表が、小林勉(18)、勝(19)君の両兄弟。特に弟の勉君は、モトクロス熱が昂じて高校を中退、清水輪業さんのメカニックとして働くかたわら、大好きなモトクロスに打込んでいる。

自分でMX250のクランクシャフトを削り、



「今日は特別、TCMSで鍛えたワテで、もう一度チャレンジさ」とリタイアにもめげず、来シーズンに期待をかける勉くん(左)と勝君

フレームを改造して、県内のモトクロスを荒しまわった。

関東甲信越Bブロックとして行なわれたTCMSにも、もちろんフルエントリー、ノービスオープンクラスのトップで、8月のYGSFへと乗り込んでいった。

しかし、さすが全国大会、新潟のトップはそのまま全国でも……とはいかなかったのだ。でも彼は、走ることをやめない。新潟県人特有のネバリで、倒れても倒れても走りつづけていく。

《暖かい後援者に見守られ》

勉君はじめ、下田レーシングチームのモトクロスに寄せるひたむきな努力を、温かい目で見守っているのが、清水輪業(株)の清水弥一社長。

66才の現在もカクシヤクとして三つの店舗と15人の従業員の先頭にたつて、オートバイ自転車、自動車修理、プロパンガス販売、それに雑貨商と多方面に敏腕をふるっている。

それぞれの店舗は、長男の輝称さん(40)をはじめ、6人の息子サンに責任を持たせ、自らは、五百鉢を越える蘭づくりで、全国的にも知られるという弥一社長。

彼も若い時代は、いまの小林兄弟にも負けぬオートバイ狂。大正末期、日本のモータースポーツの夜明けに多田健蔵や日野大三郎というスター選手とともに活躍したという、新潟モータースポーツ界の草分けでもある。

▼ 清水輪業さんというよきベースを持ち、トレールランド下田をホームグラウンドに、躍進めざましい「下田レーシングチーム」の面々。



小林君たちのクラブ活動を全面的にバックアップ、新潟のモトクロスを盛り上げる大きな力となっている清水輪業さんのみなさん。



「いまはこの園を育てることで、若いライダーの成長が楽しみ」という清水社長も、その昔はレース狂の一人だった。

さてことし一年、清水社長のバックアップを受けて、小林くんたち下田レーシングのメンバーは、TCMSにまた県内のモトクロス

《環境にめぐまれ、これからが楽しみ》

そんな清水氏だけに、今お店の従業員の方が、かつて自分と同じようにモトクロスを打込む姿を目にするだけで、一段と力コブを入れたくなるというものだろう。トレールランド下田の場所選びも自から買って出た。若い選手を育てることが蘭づくり同様、清水社長の最大の楽しみようだ。応接間には、地元の英雄・田中角栄総理から贈られたという「闘魂」の毛筆額が、あざやかに、若い選手を鼓舞するようにかかげられている。

に、その力をフルに発揮してきた。

そして10月、彼らのひたむきな努力のいかあって急速な盛り上がりを見せてきた信越のモトクロス界に、さらに拍車をかけるようにMFJ全日本選手権モトクロスが、新潟ではじめて開催された。

10月22日、南魚沼郡川西町の特設コースで行なわれた第10戦関東モトクロスである。折りからの雨でコースのいたるところが泥沼という悪コンディションにもかかわらず全国から集まったライダー達は泥まみれの熱戦を展開、小林くんたち地元勢も遠征組に負けるものかと大奮闘。

しかし、ノービス―25に出場した勝くんも、同250cc級に出場した勉くんも、極悪コースには勝てずともにリタイア。「ヨージまた明日から新規まきなおしてヤラネバ……」と肩をたたきあう両くんであった。

しかし、戦績はともかく、彼らの活躍ぶり、雨をついてつめかけた千名近い観衆に強い印象を与えたし、これまでどちらかといえば地味な活動ぶりであった信越のモトクロスが、TCMSを機に大いに充実していることをいかに示してくれた。

下田、赤谷、長岡、六日町、高柳とトレールランドにも恵まれ、モトクロスクラブも大小20余を数えるほどに増えた、信越のTCMS仲間、ことし一年の急速な成長ぶりにもまして、来シーズンの活躍が大いに話題を呼んでいるところだ。

T C M S 関東甲信越

'72 最優秀選手 決定戦ひらかる!



▲「また来シーズンも……」とヤル気十分な、長野県代表の面々。

今春2月から、全国11ブロックで行なわれてきたトレール杯争奪モトクロス選手権シリーズも、いよいよ各地で終盤戦、大きな話題を呼んでシリーズ戦の総決算・ブロック大会がひらかれています。

これは、去る十月十五日、長野県小諸市郊外の高峰高原スキー場で行なわれた関東甲信越ブロックの'72最優秀選手決定戦。

A、Dまでの4ブロックに細分されて行なわれたシリーズ戦の上位入賞者一八七名が、晴れの地区チャンピオンめざし、めざましいレースを展開、ミニトレールクラスからエキスパートジュニアオープンまで16人のシリーズチャンピオンが誕生しました。

秋空のもと選手達は、楽しかった一年間のシリーズをふりかえり、「また来年!」とはやくも闘志を胸にいだいていたものです。



▲一年間の健闘がみのり、晴れの表彰台へ……。

各地で認定はじまる 二輪車安全運転指導員



二輪車安全運転推進委員会は、いま全国で安全運転指導員の認定をはじめていますが、これは十一月七日、神奈川県自動車整備振興会教育センターで行なわれた認定式のもようです。

この日は、ヤマハ推選の十二名を含む四十三名の指導員が認定を受けました。これら指導員のかたがたは、各地の安全講習会で、二輪車ユーザーや二輪免許取得希望者を対象に、二輪車に関する知識や、安全運転活動の普及にあたることになっています。

《ビーラインレーシング》 YG1 エンジン世界記録樹立



イギリスでは、 $\frac{1}{4}$ マイル、1km、1マイルの直線コースで加速を競いあう、いわゆるラッグレースがビーラインレーシングと呼ばれ盛んに行なわれています。

スタンディングスタートとフライングスタートの二回のアベレージで順位を決定するものですが、さきごろこの競技でヤマハYG1

エンジンが75ccクラスの世界記録を三つも樹立し、大きな話題を呼んでいます。

これは、チューニングの名手として知られるビル・ホワイト氏が造りあげたマシンに、D・シルビアン選手が乗って、 $\frac{1}{4}$ マイル、フライングスタートで一四二・七〇km/hというみごとな記録をつくりあげたものです。

草原でのスノーモビルレース



「イーグルリバー」など大きなレースが数多く行われるスノーモビルの本場アメリカでは、毎年雪の到来を待ちわびている若者達が、雪のないシーズン・オフにもスノーモビルの醍醐味を味わおうと草原でスノーモビルを走らせるようになり、最近各地で草の上のレースがさかんに行われるようになっていきます。

レースのトラックは二・三百メートルと短いもので、車種は排気量別に五段階に別れており、各種目においてヤマハは圧倒的な強さを見せ、「スキー・ドー」や「ポラリス」といったアメリカのマシンを向うに回し、数多くの勝利を打ち立て、その勝率は今年度の場合じつに八七・五%にも達しています。

免許教室

正しい乗り方講習会



▲正しく学んでバッチリ合格！



▲正しい乗り方と取扱いも……。



▲交通のルールも……。 ▲安全運転の心がまえも……。



▲そして、構造の知識と、すべてがもりこまれています。

いつでも、どこでもお客さまの要望に応じてヤマハ運転免許教室を開いていただくために、新しい「免許教室用スライド」が完成しました。

内容は、新しい二輪免許試験に即し、オートバイに関する初歩的な知識から、正しい乗り方、取扱い、そして交通法規まですべてを盛り込んであります。

ナレーションのテープとセットで約30分にまとめられ、わずかな時間でお客さまに、免

許取得の糸口をつかんでいただこうというものです。

免許取得希望者を対象にダイジェストされていますので、お店のご主人はもちろん、奥さまでも簡単にインストラクターとして、教室を開いていただけます。

もちろん、会場はお店の一隅で十分。どうぞご利用ください。

ご利用の申込みは、担当のセールスマンにお問い合わせください。

へご利用ください！新しい免許教室用スライドができました！！

●お店でも免許教室を！

白い週末をお客さまとともに

＝全国85カ所のスノーモビルランドでヤマハスノーモビルを！＝



自然が白一色につつまれて、いよいよヤマハスノーモビルの活躍開始です。

もうすっかりおなじみとなった、新しいスノーアクションスポーツスノーモビリングも、全国のスノーモビルランドを中心にこどももまた人気沸騰中。

このスノーモビルランドは、今シーズン、じつに全国85カ所にオープン、乗りやすさと安全性抜群のレンタルのヤマハスノーモビルで、どなたにも心ゆくまでスノーモビリングのダイゴ味を味わっていただけるスノーモビルの別天地です。

そして、このスノーモビルランドを利用して、ヤマハと日本交通公社のタイヤによる、楽しい「スノーモビル教室」がこどももまた、スタートします。

——冬のお店のSLプランに、お客さまの冬のSLの世界を広げる「スノーモビリング」を、スノーモビルランドを利用してお店でもぜひどうぞ！

●全国スノーモビルランド一覧

▶ レンタル場名称

粟山スノーランド
大和スノーランド
余市スノーレジャー
愛別スノーランド
旭川スノーランド
サンパレススキー場
上川スノーランド
米国ホテルレンタル場
若松スノーランド
新嵐山スキー場
ポト湖スケート場
函館日吉スノーランド
函館グリーンランド
美留和万代スノーランド
札幌スノーモビルファミリーランド
十和田国際スノーランド
響谷スノーモビルサーキット
焼山スノーランド
八幡平スノーランド
志戸平スノーランド
駒ヶ岳スノーランド
小岩井スノーランド
北上スノーランド
鬼首スノーサーキット
薬師山スノーランド
新庄スノーランド
磐梯国際スノーランド
猪苗代スノーランド
湯涌スノーランド
浦佐箕スノーモビル
上越国際スキー場
石打楽園スキー場
石打丸山スノーランド
中里スノーランド
岩原スノーランド
苗場レンタルスノーモビル
赤倉熊堂スノーランド
妙高パークホテル
鶴岡山スノーランド
日光スノーランド
草津スノーランド
菅平スノーランド
千曲高原スノーランド

▶ 住所

北海道夕張郡栗山町中央2-69
* 夕張市昭和23番地
* 余市郡余市町
* 上川郡愛別町本町
* 旭川市東7条1丁目
* 旭川市神楽町14区
* 上川郡上川町層雲峡
* 弟子屈町川湯
* 北見市常盤町3丁目
* 河西郡芽室町芽室基線7
* 白老郡白老町字白老
* 函館市日吉町3丁目20番地
* 亀田郡七飯町大中山
* 川上郡弟子屈町字美留和
* 札幌市白石町本郷通6丁目北1
青森県上北郡六戸町大落瀬呼毛沢
* 青森市響谷山吹92の167
* 十和田市焼山温泉
岩手県岩手郡松尾村
* 花巻市湯川字志戸平
* 胆沢郡金崎町永岡字新野第6農場地内
* 岩手郡聖石町
* 若手郡聖町下鬼柳荒高29
宮城県玉造郡鳴子町鬼首恋宮第23の1
* 加美郡小野田町薬案高原
山形県新庄市鳥越前橋
福島県河沼郡河東村大字八田宇大野原
* 耶麻郡猪苗代町薬山
* 福島市湯温泉薬倉1
新潟県南魚沼郡大和田津佐561-2
* 南魚沼郡津沢町津沢112-1
* 南魚沼郡津沢町大字舞子
* 南魚沼郡津沢町関山
* 南魚沼郡津沢町大字土樽5276
* 南魚沼郡湯沢町大字土樽731-17
* 南魚沼郡湯沢町大字三国237
* 中頸城郡赤倉温泉
* 中頸城郡妙高平原
栃木県塩谷郡藤原町高瀬鶏頂山
* 日光市湯元
群馬県吾妻郡草津町天狗山
長野県小県郡真田町菅平
* 更埴市大字八幡芝山

▶ 電話

01237-2-1321
012352-3141
01352-2732
016586-210
0166-24-5181
0166-61-4824
016585-3216
015483-2511
01572-4-8333
015562-3121-3
01448-2-2165
0138-53-5230
013865-3311-5
01548-2-2821
011-861-8773
01765-151-176
0177-38-2912
01762-3-4987
019578-2121
01982-5-2185
01969-2-3115
01976-3-2766
022988-64-65
022966-4432
02332-2-1860
02422-2-7345
0249-22-3880
02577-7-3121
02578-2-1027
02578-3-2621
02578-3-2026 南野輪船
02578-1-3301 中里スキー場
02578-7-3211 塩原ロッジ
02578-9-2302
025575-314
0288-8-0430
0288-5-0136
02798-8-3232
0262-34-3155
02627-2-2490

▶ レンタル場名称

野沢スノーランド
飯綱スノーランド
竜王スノーランド
黒姫前山スノーランド
梅池アルプススノーランド
梅池スノーランド
五竜遠見スキー場
八方スノーマリナー
平谷スノーサーキット
乗鞍高原スノーランド
ひるがの高原スノーサーキット
シユラウド流業
数河高原スノーランド
子ノ原高原スノーハイランド
長者平スノーサーキット
撰斐高原スノーサーキット
極楽坂スノーランド
宇奈月温泉スキー場スノーランド
スノーランド庄川
奥越スノーサーキット
スノーランド勝原
森山スノーランド
美松スノーモビルランド
和太里スノーランド
山中温泉スノーランド
野々市スノーレジャー
加賀ゴルフ北陸スノーランド
栗津ゴルフスノーランド
卯辰山自然公園スノーランド
スノーランド白嶺
大日岳スノーランド
箱館山スノーランド
箱館山スノーサーキット
西神鍋スノーモビル
鉢伏スノーサーキット
戸倉スキー場
三朝カントリークラブ
樹水高原スノーモビルランド
ひるがの高原センタースノーランド
赤山スノーモビルランド
三瓶スノーランド
道後山スノーランド

▶ 住所

長野県下高井郡野沢村前坂
* 長野市上ヶ尾尾原
* 下高井郡山の内町大字夜間瀬11700
* 上水内郡信濃町柏原
* 北安曇郡白馬村大字北城14901
* 北安曇郡小谷村梅池
* 北安曇郡白馬村神池
* 北安曇郡白馬村細野
* 下伊奈郡平谷村908 平谷スケート場
* 南安曇郡安曇村乗鞍高原鈴蘭
岐阜県郡上郡高鷲村大字西洞
* 吉城郡神岡町大字西流業スキー場
* 吉城郡古川町数河
* 大野郡高根村大字西洞
* 揖斐郡春日村美来
* 揖斐郡久瀬村日坂
富山県上新川郡大町町極楽坂スキー場
* 下新川郡宇奈月温泉宇奈月スキーセンター
* 井波町今町700-22
福井県勝山市村岡町寺尾26-14 種ヶ原スキー場
* 大野市西原 銀嶺荘
* 大野市東中 8-3-7
* 敦賀市山中東松3
* 勝山市下荒井橋北詰
石川県江沼郡山中町山中温泉
* 石川郡野々市町郷町98
* 加賀市大聖寺町ホの1
* 小松市那谷町5の30
* 金沢市末吉町32
* 石川郡白峰村字白峰口の159
* 石川郡鳥越村大日スキー場
滋賀県高島郡今津前日置前
兵庫県の崎部白高町神鍋
* 城の崎部白高町万助
* 豊父郡岡宮町鉢伏
* 宍粟郡波賀町戸倉
鳥取県東伯郡三朝町大字大瀬
* 西伯郡溝口町樹水原
岡山県真庭郡上上村上福岡
* 真庭郡川上村大字上福岡池田ナル
島根県大田市大田町
広島県比婆郡西城町三坂

▶ 電話

02698-5-2951
0262-3-3850
02693-3-7161 ホテル竜王荘
02625-5-2626
02617-2-3239
02618-3-2705 招山亭
02617-5-2300
0559-39-0421
02639-3-2121
0582-62-3515
05777-3-2478
052-231-6116
057763-114
058551-607
076401-215
07656-2-1602
07638-2-3183
0779-8-0369
077968-9
07796-6-3964
07702-7-1231
0779-8-1628
07617-8-0330
0762-75-3726
07617-2-3315
0761-65-2020
0762-52-6764
(白峰)35
076194-1
07402-2-0682・2477
07964-5-0040
07964-5-0529
07652-6-0597
079075-呼130
08584-3-0834
085952-2140-2526
086768-182-79
08652-6-0597
08548-2-2039
082484-八軒申込605

好評のヤマハヘルメットに新型登場

衆議一決、仲間みんなヤマハヘルメット——で売れゆき好調のヤマハヘルメットに待望のフルフェイス型が登場、またCX 300Pシリーズに色も鮮やかなメタルフレイク塗装が追加され、いっそう売れやすくなりました。

ヤマハヘルメット フルフェイスFF100

小売標準価格 1万5千円

日本人向きにデザインされた新しいスタイルが大特長。内装も念入りな仕上げで、安全性を一段と高めました。色は白。サイズはS.M.Lの3種類です。

ヤマハヘルメット CX 300P (メタルフレイク4色)

小売標準価格 5千500円

メタルフレイク塗装の鮮やかカラーに加え、縁どりに白線をひいてジェットラインを強調した新型です。チンガードがついたほかゴーグルバンド止めも装着しました。メタルフレイク塗装はブルー、グリーン、ブラウン、オレンジの4色で、サイズはMとL。

(MFJ認定品)



●オレンジ



●ブルー



●グリーン



●ブラウン

